

多々良川ゆめプラン事業2009	記録者	木下 マス子
わくわく体験事業活動記録書	開催日時	平成22年2月28日(日) 14:00~16:00
団体名：ふくおか湿地保全研究会	開催場所	多々良川河口域
行事名：多々良川清掃&いきものミニ観察会	参加人数	11名
<p>今回のわくわく体験の概要： はじめに、クロツラヘラサギの観察を30分程度行った。資料は「クロツラ博士になろう!」「多々良川河口域で出会える生きものたち」湿地研通信号外 清掃を約1時間行い、ゴミを集荷、写真撮影。 回収したゴミ：可燃物16袋、不燃物2袋。</p>		
<p>参加者の感想： ・クロツラが餌をとっているところを初めて見た。 ・クチバシの色が黒くないのは違う種類と思っていた。クロツラはきれいだ。また参加します。 ・クロツラがカニを食べるとは知らなかった。</p>		
<p>活動団体の感想： 初参加者が2名おられました。 集合時間直前には、クロツラヘラサギはねぐらに16羽が休んでいましたが、子ども3人が中洲に近寄り、クロツラを飛ばせ、4羽が清掃予定地の近くにいたので、清掃前に、望遠鏡と双眼鏡で観察しました。 魚おそらくシロウオを次々と食べ、しばらくすると干潟でカニを探しました。 間近で見られたクロツラヘラサギに歓声が上がりました。 清掃は、毎月行っている場所なので、大きなゴミは少なかったのですが、タバコの吸殻が非常に多かったです。 平橋さんによれば、一時期タバコの吸殻が減っていたのに最近また増えている、こっそりと下水溝に吸殻を捨てるからだ、とのことでした。 今回は、NHK福岡放送局と、凸版印刷グループのビデオ取材がありました。 (株)トッパングラフィックコミュニケーションズは、福岡の環境技術を海外へPRするDVDに市民も干潟の清掃を行っていることを紹介するそうで、多々良川に干潟があることをはじめて知られたそうです。</p>		
 		